

# 仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会 令和5年度通常総会 記念講演会

## 「御舟入堀と御舟曳堀 ～仙台城下への物流ルート～」

江戸時代に開削された御舟入堀と御舟曳堀の歴史と役割を確認しつつ、明治時代以降の物流の変化にともなって登場した蒲生・仙台市内を結んだ木道社についても概要を説明頂きます。

**日時** 令和5年5月13日(土) 14:30～15:50 (開場14:20)

**会場** 福室市民センター 第1会議室 (宮城野区福室5-9-36 TEL 022-786-3540)

**講師** 畑井 洋樹氏(仙台市歴史民俗資料館 学芸室長)

**参加** 募集定員 60名 [申込み期限 5月10日(水) なお定員になり次第締切]

参加費 500円(資料代) 但し本協議会会員は無料

申込内容:氏名・住所(市町村名、但し仙台市は区まで)・電話番号

申込先:〒983-0002 仙台市宮城野区蒲生字原屋敷30-1(吉田宅)

TEL:080-3322-1966(ヤマヤ) FAX:022-262-0379

Mail:sendaiwan.unga@gmail.com

問合せ等:上記の申込先にTEL又はMailでお願いします。

**その他** ・当日はコロナ感染対策にご協力ください。(マスク着用推奨、発熱者等の参加辞退)

・交通手段:会場の駐車台数は限りありますのでご注意ください。

JR仙石線:陸前高砂駅下車 徒歩12分

市営バス:仙台駅前50番のりば(青葉通・アイリス青葉ビル前)

「高砂市営住宅西」行乗車～「福室小学校入口」下車～徒歩8分

(仙台駅前毎時03分発、乗車33分、520円)

### 【講師プロフィール】 畑井 洋樹(はたいひろき)

1972年富山県生まれ。東北大学・同大学院を経て、2006年より仙台市歴史民俗資料館に勤務。

『仙台市史』特別編9地域誌の担当者として「第2章第4節高砂」を執筆。

歴史民俗資料館の調査報告書にて「七北田川下流域の流通」や「明治初期の蒲生村の商店」などについての報告を行っている。



御舟曳堀跡



昭和15年頃の蒲生舟溜り(アサヒホームグラフより)



御舟入堀(多賀城市観光協会HP)

仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会は、仙台湾岸の運河群[木引堀・御舟入堀・新堀(以上は貞山運河(堀)ともいう)、北上運河、東名運河]の正しい歴史とその地域の記憶を伝えるため令和4年5月28日に発足しました。会員状況(R4.8末現在):正会員、賛助会員、その他会員 計41名 [入会希望者歓迎]

**【事務局】 仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会 (略称:仙台湾運河群歴史協議会)**

〒983-0002 仙台市宮城野区蒲生字原屋敷30-1(吉田宅)

TEL:090-5599-7619(吉田)

Email:sendaiwan.unga@gmail.com